

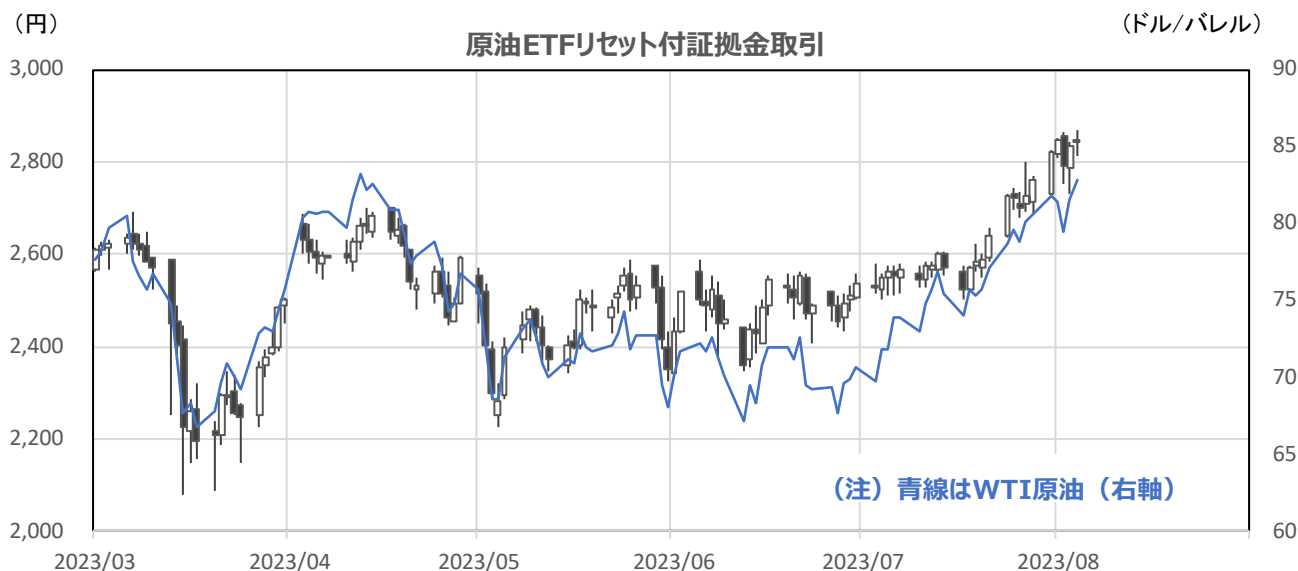
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/08/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

80ドル台前半、サウジとロシアの供給調整延長

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半で底固く推移した。米格付会社フィッチ・レーティングスが米国債の格付けを引き下げると、リスクオフ環境を背景に一時78.69ドルまで下落した。しかし、その後は改めて需給ひっ迫見通しを織り込む動きが優勢になり、4月13日以来の高値を更新する展開になった。

サウジアラビアとロシアが9月の供給調整を発表したことが、需給ひっ迫化に対する信頼感を高めている。サウジアラビアは日量100万バレルの自主減産を、7月と8月に続いて9月も実施することを表明した。更なる期間の延長、減産規模の拡大にも含みを持たせている。また、ロシアは8月に日量50万バレルの輸出削減を行っているが、9月に30万バレルの輸出削減を行うと発表した。これによって需給ひっ迫化に対する信頼感が高まった。8月4日の石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会では、現行の減産体制が追認された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月28日時点）は、原油が前週比1,705万バレル減、ガソリンが148万バレル増、石油精製品が80万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫見通しを維持、期近主導の上昇地合が続く

需給ひっ迫見通しを背景とした上昇地合が続く可能性が高い。期近限月に対してプレミアムが加算されて、逆サマ（期近高・期先安）傾向が強くなっており、地合の強さが確認されている。需給ひっ迫見通しに大きな修正を迫るような動きがみられなければ、このまま年初来高値83.53ドル突破に向かおう。年初来高値突破後は85.00ドルの節目が打診される。

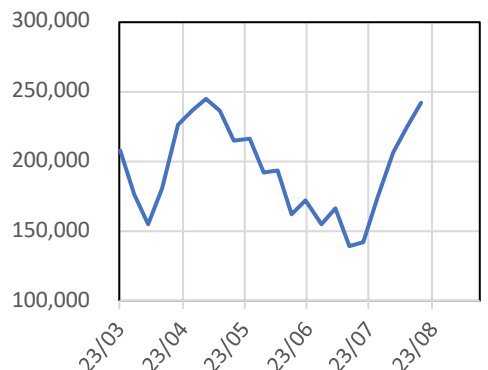
年後半の需要拡大に対する信頼感が強くなっている。中国政府が景気刺激策の導入方針を示していること、米経済指標の改善傾向を受けて、石油需要は堅調とみられている。季節的な需要拡大圧力もあり、供給サイドに大きな変化が見られなければ、時間の経過とともに需給は引き締まる。

特にサウジアラビアとロシアが9月も自主的な供給調整を行うインパクトは大きく、OPECプラスの減産合意が着実に履行されれば、世界的な在庫取り崩し傾向が確認される見通し。既に米原油在庫は大きく減少しているが、更に在庫の取り崩しがみられると、買い安心感が一段と強まろう。

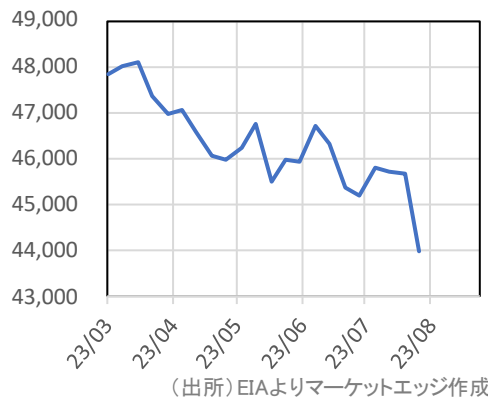
8月10日に石油輸出国機構（OPEC）、11日に国際エネルギー機関（IEA）がそれぞれ最新の月報を公表する。ここで需給ひっ迫化に対する信頼感が高まると、買い安心感が強まろう。

一方、8日には中国の7月貿易収支に発表が予定されている。中国の需要不安が蒸し返されると、調整売りが広がる可能性がある。また、米国債格下げの余波でリスクオフ化が更に広がりを見せた際にも、上値を圧迫されるリスクがある。

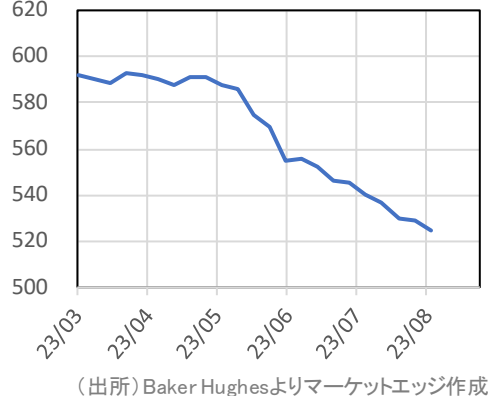
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

